

広島県廿日市市、広島電鉄株式会社、OpenStreet 株式会社が 「シェアサイクルの社会実験に関する協定」を締結 ～路面電車やバスと連携し、ラストワンマイルの交通利便性と観光回遊性の向上を目指す～



広島電鉄株式会社（本社：広島市中区、代表取締役社長：仮井 康裕、以下「広島電鉄」）と、OpenStreet 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：工藤 智彰、以下「OpenStreet」）、広島県廿日市市（市長：松本 太郎）の 3 者は、廿日市市内における交通ネットワークの充実や公共交通の機能補完、観光振興、市民の日常的な移動手段の確保を図ることを目的に、「シェアサイクル事業の社会実験に関する協定」を締結したことをお知らせします。

本協定に基づき、3 者は国内最大級のシェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」を活用した社会実験を、2026 年 10 月 1 日より廿日市市内で合計 7 箇所のポートを新設し、合計 11 箇所のポートを展開いたします。

廿日市市役所や広島電鉄の主要駅、宮島口周辺をはじめとする公共施設や駅、観光スポットなどにサイクルポートを順次設置し、地域の移動における有効性や課題を共同で検証してまいります。

■協定の概要（一部抜粋）

・実施期間

令和 8 年 10 月 1 日（木）～令和 11 年 3 月 31 日（土）

※実施期間後については、社会実験の状況や成果を踏まえ検討を重ねてまいります。

・役割（一部抜粋）

主体	役割分担（抜粋）
廿日市市	・社会実験全体の統括および進捗管理 ・サイクルポート用公有財産の確保 ・社会実験の実施に係る関係行政機関等との調整
広島電鉄	・広電宮島線やバス等との連携による交通施策の検討 ・ポート用公有財産以外のポート確保

	・社会実験の周知、広報
OpenStreet	・シェアサイクルのアプリケーション、システム・機器類の提供 ・社会実験の運営全般（自転車・ポート維持管理、利用者対応） ・ポート用公有財産以外のポート確保 ・利用者アンケート調査の実施 ・各種データの収集・整理・市への提供（個人識別情報を除く）

■3 者連携の背景と目的

廿日市市は、世界遺産である厳島神社（宮島）を擁する日本屈指の観光都市であると同時に、広島市のベッドタウンとして日常的な移動ニーズも非常に高い地域です。一方で、観光シーズンにおける周辺道路の交通渋滞や、主要交通結節点（駅・バス停等）から公共施設・住宅街・観光スポットを繋ぐ「ラストワンマイル」の二次交通の確保が、市のまちづくりにおける持続的な課題となっていました。

本社会実験では、こうした課題の解決に向け、廿日市市が公有地等をポート用地として活用し、広島電鉄が長年培ってきた地域に根差した公共交通ネットワークや地域特性に関する知見、自社の駅・バス停周辺の用地を活用するとともに、OpenStreet が展開する電動アシスト自転車等のシェアサイクルサービス「HELLO CYCLING」を導入し、ポートを展開いたします。

OpenStreet の「HELLO CYCLING」は、自治体や地域企業、公共交通事業者等がそれぞれの強みを活かしながら参画できる「地域パートナーモデル」を特徴としており、これまで全国各地で地方自治体や公共交通事業者等との連携を進めてまいりました。今回の連携では、行政（廿日市市）・公共交通事業者（広島電鉄）に賛同いただき、それぞれの強みを活かす形で、官民連携による体制を構築することができました。

鉄道やバスといった「移動の動脈」と、公有地や駅・バス停等に張り巡らされたシェアサイクルという「毛細血管」をシームレスに結びつけることで、過度な自家用車利用の抑制（交通渋滞緩和・脱炭素社会の実現）や、観光客の市内回遊性の向上、さらには市民の通勤・通学、買い物といった日常的な移動利便性の向上を目指してまいります。

■協定締結にあたっての代表者コメント

廿日市市長 松本 太郎

「このたびの三者協定による社会実験の開始を大変嬉しく思います。本市は、都市と豊かな自然、貴重な歴史的観光資源が調和した素晴らしいまちです。シェアサイクルは、市民の利便性向上のみならず多くの観光客に対する周遊ハードルを下げます。来訪者が隠れた観光資源を発掘・体験することで本市での滞在時間を伸ばし、消費機会の増加による地域経済の発展も期待できます。都市拠点へのアクセス性の向上などを目的に、新たな移動手段としてのシェアサイクルの有効性や課題を検証してまいります。」

広島電鉄株式会社 代表取締役社長 仮井 康裕

「当社は長年、広島エリアの地域交通を通じて人々の暮らしとまちの発展を担ってまいりました。今回、交通サービスの価値をさらに向上させる取り組みとして、当社の駅や停留所と、手軽に小回りの利くシェアサイクルを組み合わせた社会実験に参画できることを大変有意義に感じています。当社のアセットを活用し、公共交通を補完するラストワンマイルの移動手段を提供することで、沿線の価値向上、公共交通の利便性向上、ならびに環境負荷の低減に取り組んでまいります。今後も、地域のさまざまな移動サービスとの連携を通じて、持続可能でシームレスなモビリティを実現し、広島のみならずと地域価値の向上に貢献してまいります。」

OpenStreet 株式会社 代表取締役社長 CEO 工藤 智彰

「このたび、廿日市市および広島電鉄と協力しシェアサイクルサービス『HELLO CYCLING』を展開できることを大変光栄に思います。当社が提供する水平分業型の地域パートナーモデルを活かし、広島電鉄との強力な地域基盤・アセットと連携することで、地域の生活や観光に根差したラストワンマイルの

移動インフラの構築を実現します。さらに、持続可能な交通網の確立に向け、引き続き取り組んでまいります。」

■初回新設ポート設置場所

ポート名	所在地	駐輪可能台数
廿日市市役所	広島県廿日市市下平良一丁目 1316 番 48 外	4 台
総合健康福祉センター（あいプラザ）	広島県廿日市市新宮一丁目 13 番 1 号	4 台
廿日市市役所前駅①	広島県廿日市市新宮二丁目 144 番地 1	4 台
廿日市市役所前駅②	広島県廿日市市新宮二丁目 144 番地 1	6 台
広電廿日市駅	広島県廿日市市廿日市二丁目 966 番地 21	4 台
宮内駅	広島県廿日市市串戸三丁目 4823 番地 2	4 台
山陽女学園前駅	広島県廿日市市大東 1051 番地 1	4 台
JA 広島病院前駅	広島県廿日市市地御前一丁目 1007 番地	4 台

廿日市市内のポート設置場所は、[こちら](#)をご確認ください。



■「HELLO CYCLING」の利用方法

ご利用にあたっては、「HELLO CYCLING」アプリのダウンロードが必要です。

アプリで無料会員登録後、ポートの検索や、自転車の予約から決済までを簡単に行うことができます。また、アプリの地図上に表示されている返却可能ポートであれば、全国どこでも貸し出し・返却が可能です、使いたいときに、使いたいだけ、便利に利用することができます。

■ご利用料金

展開車種：電動アシスト自転車

1. シティサイクル：利用開始 30 分まで 160 円、以降 15 分ごとに 160 円、12 時間まで 2,500 円

2. スポーツタイプ：利用開始 15 分ごとに 160 円、12 時間まで 3,000 円

※車種やエリアによって料金に変更となる可能性があります。ご利用前にアプリまたは、下記の URL よりご確認ください。

<https://www.hellocycling.jp/price/>

HELLO CYCLING ホームページ (<https://www.hellocycling.jp/>)

HELLO CYCLING アプリダウンロード (<https://www.hellocycling.jp/app/openapp>)

■OpenStreet について

OpenStreet は、自転車活用推進法の後押しやユニークな水平分業型の地域パートナーモデルにより国内最大級のシェアサイクルプラットフォームである「HELLO CYCLING」および、小型 EV のシェアモビリティプラットフォーム「HELLO MOBILITY」の展開を通じてラストワンマイルにおける多様な移動手段を提供し、MaaS 促進を目指します。

<https://www.openstreet.co.jp/>